

学校法人 東京聖徳学園

SEITOKU FLASH 聖徳フラッシュ

聖徳フラッシュ 第22号 平成18年2月1日 発行 学校法人 東京聖徳学園

- 聖徳大学大学院 聖徳大学附属小学校
聖徳大学 聖徳大学附属幼稚園
聖徳大学短期大学部 聖徳大学附属第二幼稚園

主なトピックス

- 第17回全国高校女子駅伝大会 堂々の13位
創立40周年記念式典
言語文化研究所公開シンポジウム

INDEX table with categories like 附属中・高, 聖徳中・高, 学園, etc.

ISO9001 (教育の質マネジメントシステム)
ISO14001 (環境マネジメントシステム)
ご意見/ご感想募集

第十七回全国高校女子駅伝大会 堂々の十三位



去る十二月二十五日(日)第十七回全国高校女子駅伝大会が京都市の西京極陸上競技場発着コースで行われ



児童学科講師の百瀬雄先生が第二十回オリンピック冬季競技大会(二〇六ノトリノ)競技種目「リユニージュ」に監督として参加されます。

トリノ五輪の監督に就任!! 百瀬雄先生

三年連続で一区を走った大崎は、十一月末に足に痛みを覚え、十日ほど練習ができず、悔し涙を流したこともありまし

大舞台で主将としての意地を見せてくれました。二区を走った和田沙織(三年)も当日こそ本来の力が出し切れなかったも

10位台の結果は果敢としても六年ぶりの躍進です。レース展開は、一区の大崎千聖主将(三年)が19分38秒で7位につけると

の、大崎と同じく三年生としてチームを力強く牽引してくれたと思っております。三区、四区を走ったのはどちらも一年生の選手で生まれて初めての都大路でした。桜井・星野のふたりが力以上の走りを見せ、五区の成毛に繋いでくれたことが、今回の成績につながったのだと受けとめています。

聖徳中高教諭 小川 健二

幸いにも今回の出場メンバーのうち、桜井、星野、成毛の三人は引き続きチームのメンバーとして来年度も活躍を続けてくれます。駅伝部の部員たち、そして今春入部し、あとに続く後輩たちにもさまざまな刺激を与えてくれるものと期待しています。

生徒たちが日々練習に励み、頑張ればここまでやれるんだ」ということを現実に見せてくれたことを本当にうれしく思います。

特別活動の記録 平成17年度

聖徳中学校・高等学校 (主な実績【平成17年4月~平成18年1月】)
陸上競技部・駅伝部 祝・全国大会 出場!!
祝・全国制覇!!
祝・国民体育大会 初出場!!
祝・日本大会 優勝!!
祝・関東大会 優勝!!
祝・14年連続金賞受賞!!

吹奏楽部 (音楽部吹奏楽編成)
吹奏楽コンクール予選 金賞入賞で本選へ
吹奏楽コンクール本選 県代表に選出 東関東大会へ
東関東大会 金賞
第31回千葉県アンサンブルコンテスト【中学の部】金賞8重奏 金賞
管弦楽部 (音楽部管弦楽編成)
第12回全国高等学校選抜オーケストラフェスタ出場決定
書道部
第29回書道全国展 最優秀団体賞受賞
【団体】最優秀団体賞
【個人】東京学芸大学長賞・中学生 山田 千穂
硯心会会長賞・高校生 磯部 幸香
全日本書写教育研究会賞・高校生 成瀬 愛

附属中学校・高等学校 (主な実績【平成17年4月~平成18年1月】)
水泳部
関東高等学校選手権水泳競技大会 100m・200mバタフライ出場 昆 宏枝
バドミントン部
松戸市夏季バドミントン大会 団体戦 6位
ゴルフクラブ
第26回関東中学校ゴルフ選手権女子・個人の部 鮎川 杏子 40位
長澤 七虹 41位
三橋 奈々美 46位
文芸クラブ
第105回千葉県高等学校弁論大会 団体の部 優秀賞
個人の部 最優秀賞 渡邊 未耶
第50回文部科学大臣杯全国弁論大会 優秀賞 成田 麻亜子
全国高等学校弁論大会 準優勝 松本 響子
全国都道府県教育委員長協議会賞受賞
バト部
第40回マーチングバンド・バントワリング関東大会 高校 10位 銀賞受賞
中学 8位 銀賞受賞
スキー部
千葉県高等学校総合体育大会・スキー大会 アルペン競技 G.S.L 優勝 小櫃 万由子
S.L 優勝 小櫃 万由子
クロスカントリー競技 クラシカル 第3位 石野 麻有
フリー 第3位 石野 麻有
リレー競技 準優勝
インターハイスキー競技出場決定!
千葉県中学校総合体育大会・スキー大会 アルペン競技 G.S.L 4位 遠藤 みなみ
S.L 優勝 遠藤 みなみ
クロスカントリー競技 クラシカル 第4位 木村 泉心
フリー 第4位 木村 泉心
全中スキー大会出場決定!

創立四十周年記念式典

聖徳大学短期大学部

去る十二月八日(木)、聖徳大学川並香順記念講堂において、聖徳大学短期大学部創立四十周年記念式典が挙行されました。

式典には、文部科学副大臣ほか衆・参両院の先生方、私学関係団体の方々、諸大学の代表者など学外からのご来賓、また、短大一、二年生、後援会、同窓会、そして本学教職員関係者が参列し、盛大に開催されました。

最初に、お茶の水女子大学理学部数学科教授の藤原正彦先生をお迎えし、「日本のこれから、日本人のこれから」と題した記念講演を行いました。



講演される藤原正彦先生

続いて、永年にわたり本学に勤務され、短大部の発展と充実にご尽力ご貢献いただいた川並知子先生(保育科・教授、附属四園・園長)、桂きみよ先生(生活文化学科・教授)、伊藤輝子先生(生活文化学科・教授)、小杉洋子先生(児童学科・教授)に感謝状が贈呈されました。

また、本学の同窓会「香和会」の初代会長・飯塚幸子様、現会長・長江曜子先生に感謝状が贈呈されました。最後に、学生部長川並光昭先生から謝辞が述べられ、学園歌を斉唱して、式典は無事終了いたしました。

引き続き行なわれた式典の部では、最初に川並弘昭理事長・学園長が挨拶され、短大創立四十周年の歴史を振り返りながら、現在まで多くの方に支えられて歩んできたことへの感謝の気持ち述べられるとともに、創立者の意志を継ぎ、人間教育にますます励んでいくことを力強く宣言されました。



そして、文部科学副大臣 馳浩先生、参議院議員 倉田寛之先生からご祝辞を頂戴いたしました。



学術フロンティア推進事業の一環として クリスマス会 行われる

生涯学習研究所

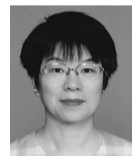
生涯学習研究所では、学術フロンティア推進事業の一環として、生涯学習社会貢献センターで、十二月十日(土)に「クリスマス会」を開催しました。参加者は、子どもとその保護者を合わせると約百名が集まり会場を沸かせました。

今回の活動は、児童学科生涯学習指導者コースの三年生が中心となり、「社会教育イベント企画(児童学科教授 清水英男先生指導)の授業実践として取り組んだものであり、それを、創年クラブ(ポランティアグループ)が全面的に支援する形となりました。また、十二月初旬からのクリスマス飾りは、創年クラブをはじめ、地域の

への参画に関するシステムづくり(第3部門)であり、また、学生においては、「地域における子ども活動」のプログラム作り(第2部門)の実践舞台となりました。特に、学生のコミュニケーションスキルや企画の方法などを学ぶ上で重要な機会となったようです。

平成十七年度 第三十六回 千葉県私学教育功労者表彰

本学園より、十二名の先生方が、日頃の教育・研究の成果が認められ、今回の表彰となりました。



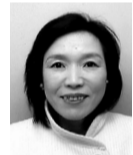
被表彰者: 伊藤 まり子 先生 (附属中高 教諭)



被表彰者: 暮石 雅利 先生 (総合文化学科 教授)



被表彰者: 高尾 公矢 先生 (社会福祉学科長)



被表彰者: 広瀬 晴美 先生 (附属第2幼稚園 副園長)



被表彰者: 花輪 茂道 先生 (総合文化学科 教授)



被表彰者: 安部 益巳 先生 (日本文化学科 教授)



被表彰者: 鈴木 和子 先生 (附属第2幼稚園 主任)



被表彰者: 川窪 由子 先生 (附属中高 教諭)



被表彰者: 五藤 寿樹 先生 (現代ビジネス学科 助教授)



被表彰者: 吉岡 和子 先生 (附属浦安幼稚園 副園長)



被表彰者: 山内 英昭 先生 (附属中高 教諭)



被表彰者: 海老江 康二 先生 (保育科 教授)

献血感謝状

大学・短期大学部

去る平成十七年十月二十七日(木)、千葉県蘇我勤労市民プラザにて平成十七年度千葉県献血感謝のつどい(主催 千葉県、日本赤十字社千葉県支部)が開催され、聖徳大学・聖徳大学短期大学部が日本赤十字社千葉県支部より感謝状の贈呈を受けました。

この感謝状は、本学の十年以上にわたる献血活動に對して贈られました。今年度は、学内での献血の開催が八回(昨年度六回)と回数が増え、協力者数は延べ六〇〇名(昨年度は三〇〇名)を超えて多くの皆様のご協力をいただきました。これからも献血を通して、赤十字活動の発展に貢献していきたいと思っております。皆様のご協力を今後ともよろしく願います。



表彰状

聖徳大学短期大学部様
貴団体は多年にわたり本県の献血の推進に協力されその功績は誠に顕著で他の模範であります
よそこれを表彰します
平成十七年十月二十七日
千葉県知事 堂本 暁子

言語文化研究所公開シンポジウム 『星の王子さま』をどう読むか

言語文化研究所

十一月二十六日(土)に、言語文化研究所の公開シンポジウムが開催されました。こしはらく、同研究所の講演会などではアジア・日本文化関係のことがらを探り上げてきましたが、今回は西洋文学に目を向け、『星の王子さま』について考えることにしました。ご存じのように、この作品は日本で著作権保護期間が二〇〇

五年に満了し、各出版社から新訳も多く出版され、静かなブームを呼んでいます。稲田弘子(本学社会福祉学 科教授)、大島省子(本学非常勤講師)、北村弘明(本学言語文化研究所教授)の各先生がパネラーとなり、山口博研究所長の司会で、各翻訳の比較、言語の響き、内容などの点からそれぞれの見解を発表しました。また、英

米文化学科のブレイク先生や学生が各国語の訳で本文を朗読し、映像作品も見たりしながら、作品の魅力について多角的視点からの紹介がありました。参加された聴衆からも、活発な意見が交わされ、「大人のための童話」という特質が大きく浮かび上がり、有意義なシンポジウムになりました。



第十四回 学寮スポーツ大会

大学・短大



今大会で見せてくれたこの団結力と若さ溢れるプレイは寝食をともししている寮生ならではだと思えます。笑顔と真剣な顔が交錯した今回の経験が、今後の寮生活に生かされることを願っています。なお、戦績結果は左記のとおりです。

1) バレーボールの部		2) 綱引きの部	
優勝	富士見寮	優勝	富士見寮
準優勝	香風寮	準優勝	香風寮
第3位	和心寮	第3位	順和寮
敢闘賞	順和寮	敢闘賞	和心寮

3) 応援団体賞 (チャリティGET賞) 和心寮

キャリア支援室だより



学部四年生 短大部 二年生 専攻科修了年次生にとっては残り少ない学生生活となりました。学生個々が楽しくかつた事、辛かった事など様々思い出を胸に四月より新たな道に飛び立っていきます。幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校・各種施設として一般企業、数多くの学生が多岐に渡った就職先でお世話になります。社会の一員として

良識のある人物に成長していただくことを願っています。今年度も本学では公立小学校教員採用試験最終合格者百十三名という新記録を達成しました。合格者は次代を担う子供たちの教育という重要な使命を背負い、喜び・期待・不安で一杯のことと思います。今後の活躍を切に願っています。

「自立した女性」を育てる学科

インタビュー

現代ビジネス学科長 眞壁 哲夫 先生

全国でも珍しい六ヶ月という長期インターンシップを導入し、またその高い就職率で知られる現代ビジネス学科。今回はその現代ビジネス学科の特長や独自の取り組みについて学科長の眞壁先生に伺いました。

現代ビジネス学科の教育の目標は?

【眞壁】「功名がは... 山内一豊の妻」の放映が始まり、夫を支える賢明な妻への関心が高まっています。少子高齢化時代を迎え、女性の社会参加が求められる時代を反映していると思われ、本学科はこの時代の流れを受けた学科であり、「自立した女性」すなわち「仕事ができる女性」を育てたいと考えています。ゆくゆくは女性起業家が輩出して欲しいものです。

そのためにどのような教育をしますか?

【眞壁】「知識」「技能」「人間」の「三本柱」を教育のテーマにしています(図参照)。まず、「知識」の面ではビジネス分野の専門能力を身に付けるため、「経済」「経営」「法律」「IT(情報)」などの専門知識を教えます。次に、社会

で活躍するための「技能」として、昔の「読み」「書き」「そろばん」の現代版「マナー」「パソコン」「簿記」「英語」を鍛えます。最後に、他人を理解できて、他人に信頼してもらえる「人間」を育てるため、他の大学にはない六ヶ月間の長期インターンシップがあります。

六ヶ月間の長期インターンシップとはどのようなものでしょうか?

【眞壁】三年生になると、企業自治体、法律事務所、会計事務所などで六ヶ月間、その職場の一員となって仕事をします。その間は、月に二回の登校日を除いては大学には来ません。これだけ長期間になると、他大学の二週間くらいのインターンシップとは違う特色が出てきます。

どのような特色でしょうか?

【眞壁】少子化の時代に育った世代が学生は、自分が何をやるかではなく、人にやってもらえたいという意識になりがちです。他大学のような「週間のインターンシップでは企業側も学生をお客様のように扱うため、その意識変革」の機会になりません。しかし、六ヶ月間ともなると学生も仕事のパートナーとして扱われます。そうすると、「他人が何かやってくれる」ではなく、「自分も何か行動していかねばならない」となります。その中で、学生は他人と「コミュニケーションをとることを経験していきます。自分と異なる発想や感覚で物事を

判断している人がいることを発見し、そうすることで自分の発想や感覚を見つめなおす機会にもなります。時には他人に迷惑をかけた、叱られたりもするでしょうが、その結果を自分で反省し成長の糧となります。「意識変革」が起き、「人間」として成長していきます。実際、これまでの学生を見てみると、インターンシップを始めて一ヶ月経つと「学生」から「社会人」に「変貌」しました。

九十四%という高い就職率を保つ秘訣は?

【眞壁】カリキュラムとしては六ヶ月間の長期インターンシップが大きな要因だと思います。それに向けて、教育の「三本柱」の一つである「技能」で、「マナー」「パソコン」「簿記」「英語」のそれぞれで資格を取るよう指導しており、現場で仕事ができる「即戦力」を鍛えていることも大きいと思います。「知識」があり、「技能」があり、「人間」として成長している女性であれば、仕事もできます。そうすれば他人から信頼され、社会でも評価されます。就職できないわけがありません。また、組織的にも、学科で就職委員会を組織し、就職指導の計画・実施を行っています。また、大学事務局のキャリア支援室との連絡も頻繁にとり、連携を密にしています。また、全学生に正社員になりたいと指導しています。フリーターはキャリアとして認められません。

どんな資格試験の対策を?

【眞壁】マナーはインターンシップに行くまで継続して鍛え、秘書技能検定二級を取ります。日商簿記検定二級は補習体制を組んでいます。さらに新一年生から日商簿記検定二級、MSオフィススペシャリストなどのパソコン資格、英語のTOEIC検定の選択科目を増やしました。取得したい資格に応じて、授業を増やすことができます。単位が取得できる授業の中でさらに資格取得のための学習をサポートしていきます。

受験生にむけて一言

【眞壁】高校三年生で人生を決めるのは難しいと思います。大いに悩むことでしょうか。いや、大学に進学しても悩み続けるのは普通です。そこで本学科では段階を踏んで、学生が自分の人生を決めるための指導をしています。まず、一年生には「自分探し」のゼミを実施します。そこで、自分のキャリアについて考えてもらいます。平行して、社会に出るために必要な「知識」を学び、「技能」を身に付けます。三年生の前期からは六ヶ月間のインターンシップを経験し、上に述べたように社会で評価される「人間」に成長してもらいます。それを踏まえて、キャンパスに戻る後期からは就職活動を始めます。なお、少人数のゼミは「三、四年次」とあり、それぞれの個性に応じて、面倒見良く指導していきます。悩んでいる学生にはぜひ本学科に来て自分の人生を決めてもらいたいと思います。



新記録!!

最終合格

113名

【公立小学校】

東京都48名、千葉県37名、埼玉県14名、大阪府5名、さいたま市2名、横浜市2名、神奈川県1名、茨城県1名、愛知県1名、京都府1名、沖縄県1名

公立小学校教員採用試験

人間

「長期インターンシップ」

現代ビジネス学科 教育の「3本柱」

知識

「経済」「経営」など

技能

「マナー」「簿記」など

外国語学科

英語の発音指導

外国語学科の一角で、文部科学省科学研究費補助金プロジェクト、「英語が使える日本人のための発音指導」の実験的指導が進行中です。その特徴をまとめると、(1)新情報を英語でコミュニケーション、(2)発音は発音記号と近似カナ表記の併用、(3)個人個人を指導する、の3つです。

(1)英語でコミュニケーション:事前指導として、例えば名詞を定義するときは、上位概念語・特徴・用途の順で説明できるようにします。

(2)発音記号と近似カナ表記の併用:「文字さえ間違わなければよい」という漢字文化圏にいる英語受講者は、例えば、flesh(人体の肉)とfresh(新鮮な)、flight(飛行)とfrigh(恐怖心)などに見られる/l/と/r/の区別などを命題化し、到達させねばなりません。また、発音記号をしっかりと身につけるには、日本語でどれだけ迫れるか、そしてどうすれば英語音が出せるかの処方箋を案出します。



例えば、tennisを英語らしく発音しようとして、[ˈten.ɪs]という発音記号を見ても、英語らしく発音できるとは限りません。なぜならば、日本語の「テニス」との違いは、母音の/i/の前の/n/に大きな差があるからです。それを解決するには、近似カナ表記で、「テネイス」のように表記し、英語の場合は、前舌と口蓋の接触がより少ないことを明示した方が実態に迫ることができます。

(3)個人個人の指導:少人数クラスで個人指導が可能になるのは一人一人教師と対話形式で行うことができるからです(写真)。English、outline、play、collectなどは/l/の発音が特に難しい音ですが、徹底した個人指導で、外国語学科の学生は全部正しい/l/を発音できるようになっています。「発音ばかりやっても」という外部からの声も聞こえますが、発音>音読>説明・定義の指導過程は、持続すれば効果が高まってきます。



去る十二月七日(水)に本学川並香順記念講堂において、『第六回 児童学科・保育科ピアノ演奏会』が開催されました。この演奏会は、五月にオー



児童学科・保育科

ピアノ演奏会

ディクションで選ばれた児童学科二・四年生、保育科二年生の学生たちが、千名を超える鑑賞学生、先生方や保護者の方々の前で、実習や就職活動など忙しいスケジュールの中、厳しい練習を積み重ね、懸命に仕上げた曲を披露するものです。彼女たちの演奏は、一緒に学んで来た同世代の仲間をはじめとして、聴いている人々に少なからぬ感動を与えました。

彼女たちがつむぎ出すピアノの音色には、学生たちにとって特別な力があります。演奏者の純粋な思い入れが共感を呼ぶのです。保育者を目指す彼女たちに、ベートーヴェンやショパンの楽曲は、直接仕事と関係ないかもしれませんが、心

の深いところに訴えかける美しさやエネルギーに触れることは、感性の幅を広げるきっかけとなるはず。豊かな人間性をもって、子ども達に接することが出来る保育者を数多く世の中へ送り出したいと願ってやみません。

平成十八年一月八日(日)の午後、東京のサントリー



音楽文化学科 推薦コンサート

ホール(小ホール)で、音楽文化学科ピアノコース推薦コンサートが開催されました。このコンサートは例年学内の音楽堂で行われておりましたが、年々演奏水準が高くなり広く一般の方々にもお聴きいただくため、昨年に引き続き学外での演奏となりました。

演奏者は、推薦された二年生から四年生までのピアノコースの学生十名です。ホール(小ホール)で、音楽文化学科ピアノコース推薦コンサートが開催されました。このコンサートは例年学内の音楽堂で行われておりましたが、年々演奏水準が高くなり広く一般の方々にもお聴きいただくため、昨年に引き続き学外での演奏となりました。

ウィーン古典派のベートーヴェンの作品やシューマン、リストのロマン派の名曲、ロシアのラフマニノフの音楽やドビュッシー、バルトーク、メシアン等の近現代の作曲家の多様なピアノ作品が演奏されました。

当日は新春の寒さの厳しい日でありましたが、難曲や大曲に挑む学生の真摯な演奏に、学長先生をはじめ多くの方々が最後まで耳を傾けてくださいました。演奏した学生の関係者だけではなく教職員の方々や卒業生の顔も見受けられ、多くの一般のお客様にも聴いていただき充実したコンサートとなりました。



今年度のトピックスは、既存の学科以外に、人文学部に新学科として『心理学』が新たに開設されることです。基礎重視のカリキュラム、心理学に関する基礎知識を体系的に習得できます。通学課程と同じ教授陣が数多く指導にあたります。

通信教育は、在宅学習を中心に学習を進めますが、年二回から三回、直接教員からの講義や指導を受ける面接授業スクーリングを実施します。去る十二月に大学院、学部、短大のスクーリングが実施され、多くの学生が授業に取り組みました。地方在住の学生の利便を図るためのエリアスクーリング(仙台、福岡、名古屋)も一月に実施されました。また、一月

通信教育

人文学部に『心理学』が開設されます



お問い合わせ先
通信教育学務課
〒277-8551 松戸市松戸1169
聖徳大学生涯学習社会貢献センター内
TEL: 047-365-1200
URL: www.seitoku.jp/tk
E-mail: tsuushin@seitoku.ac.jp

プログラム

- 鈴木 花織(2年生) ベートーヴェン:ピアノソナタ 第4番 変水長調 作品7 第1楽章
- 佐藤 弥生(2年生) シューマン:ピアノソナタ 第2番 ト短調 作品22 第1楽章
- 萩原 美香(3年生) ラフマニノフ:プレリュード 長調 作品32-5、変ロ長調 作品23-2
- 藤井 遼子(3年生) バルトーク:組曲 作品14 アレグレット スケルツォ アレグロ・モルト ソステヌート
- 福田 あすか(3年生) シューマン:幻想曲 作品17 第1楽章
- 千吉良 優子(4年生) シューマン:ピアノソナタ 第1番 嬰ヘ短調 作品11 第1、4楽章
- 田中 美穂(4年生) ドビュッシー:《映像》 第1集 水の反映 ラモーを讃えて 運動
- 山尾 啓子(4年生) リスト:バラード 第2番 口短調
- 中井 美済季(4年生) ラフマニノフ:コレリリの主題による変奏曲 二短調 作品42
- 渡邊 明日美(4年生) メシアン:8つのプレリュードより 鳩 軽やかな数 過ぎ去った時 風の中の反映



幼児教育 専門学校

だより

平成十七年度文部科学省「専修学校重点支援プログラム」に採択された聖徳フラッシュ第十九号(平成十七年八月)に紹介(本校の支援プログラムの活動について)ご紹介いたします。

採択事業の「保育の聖徳・卒業生アフターケア」と在校生スキルアップの実践プラン」を行う上で、五つの分科会を設け、それぞれ活動を行っています。各分科会の内容は、第一分科会では卒業生のニーズ把握調査を実施し現在、集計中です。第二分科会は、保育現場ではどのようなことを求めているかのニーズを把握調査しています。第三分科会では現場支援と地域支援を実施しています。第四分科会では、相談業務とWeb情報についてインターネットを使って行っています。第五分科会は、リカレント教育開発プログラムとして、卒業生に対してグループ研究発表会へのご案内や情報機器操作(初級)講座を企画しています。

さて、ここでは五つの分科会の中から、第三分科会での現場支援と地域支援の活動について学生の感想を中心に「報告します」。

「保育の聖徳」 卒業生アフターケアと 在校生スキルアップの 実践プラン」を 実施しています。

会での地域の幼稚園や保育園の現場のニーズ(ミニ劇場隊・教材準備隊遊ぼう隊・クレーン隊)調査をもとに、その中より港区(近隣の幼稚園・保育園に限定し、四つの園で現場支援を実施いたしました。

以下は、現場支援の四つのタイプについて実際に実施した学生からの声です。

「みつばち保育園」では、牛乳パックを使って、乳幼児用のおもちゃ作りを行いました。ポランティアをして、手作りおもちゃのレパートリーが増えました。また、学校では学べないことが学べるので、今後は自分から進んでポランティア活動をしたいです。(一部一年生)



みつばち保育園で活躍しました。

「みなと幼稚園」では、園児のスモックのボタンつけ、袖のゴム直し、靴下ほみなと」と園名を書く等



みなと幼稚園で子どもたちと遊ぶ。一番楽しいです。

を行いました。また、作業を終えて、子どもと一緒に遊び、園の見学をさせていただきました。現場で働く先生方には、いろいろな仕事を



みなと幼稚園で子どもたちのために心を込めて行いました。



みなと幼稚園でいろいろと経験できました。

附属中学校・高等学校 青少年セーフティ 宣言コンサート

平成十七年十二月十九日(月)、本校体育館において「青少年セーフティ宣言コンサート」が開催されました。このコンサートは、「少年の規範意識の向上を図り、非行防止に資する観点から、警察や関係機関が学校と連携し、生徒の目線で考えた教材を活用して生徒の非行防止と被害防止を呼びかけることを目的としています」。

第一部の非行防止教室では、千葉県警察本部生活安全部少年課の少年補導専門員の方から青少年が巻き込まれる危険な状況や、被害防止の観点から、警察や関係機関が学校と連携し、生徒の目線で考えた教材を活用して生徒の非行防止と被害防止を呼びかけることを目的としています。



また、「非行防止劇」カールシウム不足松戸国際高校演劇部による「は、ひとこと話題になった、親父狩り」を題材にしたものでもあり、



三田幼稚園で「聖徳クリーン隊」。ただ今清掃中です。

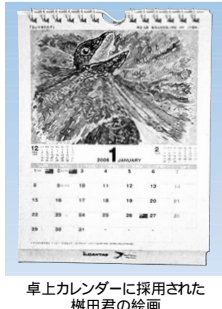
「聖徳 学園三田幼稚園」では、十二月十七日(土)にクリスマス会があり、参加させていただきました。先生方自身も楽しんでいただき、参加させていた

いるのだと思います。また、保護者の方々のハンドベルにも感激しました。行事に参加してよい経験ができました。(一部一年生)



「エリマキトカゲ」が 最優秀賞に 第七回「ちておきのオストリア」 絵画コンクール

カンタス航空/オストリア航空・日本支社「第七回」ちておきのオストリア」絵画コンクールの最優秀賞に、附属小学校・四年三組の榎田大景君が選ばれました。この絵画コンクールは、子供たちに豊かな感性と自由な発想でオストリアに親しみを持つてもらおうことを目的として、カンタス航空が一九九九年より毎年実施しているものです。第七回目を迎えた本年は、過去最高の八五〇点以上もの力作が全国から寄せられ、その中から選ばれました。十二月七日(水)にはカンタス航空の



卓上カレンダーに採用された榎田君の絵画

方々が直接本人に賞状と副賞を授与したいということと本校を訪れ、校長先生、副校長先生、四学年児童出席のもと授与式を実施しました。榎田君は、「最初は、どんな動物を描くか迷いました。でも爬虫類が好きなのでエリマキトカゲにしました。また、模様や色をはっきりさせるように、あまり色を混ぜないで描きました。自分で上手に描けたと思うので賞に入ったらいいなと思っていました」と感想を言いました。この榎田君の描いたエリマキトカゲは、色鮮やかに堂々と描かれた、すばらしい作品です。カンタス航空/オストリア航空の二〇〇六年の卓上カレンダーの絵柄にも選ばれました。



皆、真剣に鑑賞していただき、第二部のコンサートでは、本校吹奏楽部の演奏と県警のカラーガード隊によるフラッグ演技で盛り上がり、コンサートの最後は本校生徒の「セーフティ宣言」で締めくくられました。今回のコンサートは、ニュース番組や新聞で取り上げられる少年犯罪が「自分たちも加害者や被害者になる可能性がある事件」として生徒たちの心に強く印象付けられ、その防止について考える良い機会になったと思います。最後になりますが、今回の青少年セーフティ



青少年セーフティ宣言コンサートin聖徳

四年連続!! 『最優秀校賞』受賞

第二十九回『てのひら文庫賞』読書感想文全国コンクール

附属小学校

このたび、附属小学校は、毎年全児童で取り組んでいる『てのひら文庫賞読書感想文全国コンクール』において、四年連続、最優秀校賞をいただきました。また、個人の活躍も目覚しく、今年度は九万二千九百三十八点の応募作品の中から、『文部科学大臣奨励賞』及び『最優秀賞』(六年・玉田実音さん)、『最優秀賞』(二年・藤平理久くん)、『優秀賞』(一年・波井雄太くん、五年・川並弘順くん)、『優良賞』(八名)、『佳作賞』(十一名)、『奨励賞』(四十五名)、『努力賞』(八十七名)と、合計百五十五名の児童が受賞しました。中でも、最高の賞である『文部科学大臣奨励賞』は、全ての応募者の中から、たった一人しか選ばれません。玉田さんは、授賞式に出席し、自分の書いた

感想文を発表しました。とても素晴らしい発表でした。本校では、図書室だけではなく、各学年、学級、ふれあい広場にも本を設置し、いつでも児童が読書することができ環境を作っています。今後も読書活動を通して豊かな感性を養い、人を思いやる心を育てていけるような指導を推進していきます。

「ブラスバンド」から「吹奏楽」クラブへ

附属小学校

本校が昭和六十一年に開校すると同時に、プリティッシュスタイルの金管バンドとして発足した「ブラスバンドクラブ」も、今年度からはフルート、クラリネット、サキソフオンなどの木管楽器とフレンチホルンを加え、「吹奏楽クラブ」として新たなスタートを切りました。

本クラブは毎朝七時三十分から八時二十分までの五十分間練習しています。他の公立校とは異なり、皆遠くから通学しているため、放課後の練習が出来ませんが、レパートリーは年間六十曲ほどにも達します。しかも、今年度は新しい楽器を担当した児童が多いうえ、楽譜がすべて吹奏楽用に変わったため、例年よりも譜読みが大変です。

そんな中、夏休みに行われた、第四十七回吹奏楽コンクールではメンバーの半分以上が初心者という状態で参加したにもかかわらず、

銀賞を受賞することが出来ました。これは児童たちの頑張り、それを支える方々の存在があったからこそだと思います。大学のプロの先生方をはじめ、教員の知人、児童の保護者などがボランティアとして楽器の指導に来てくださいます。さらに今年度から、聖徳大学附属中学校・高等学校の吹奏楽部と合同練習を始めました。普段の練習方法や奏法の欠点などをマンツーマンで教わるので、飛躍的に上達できます。

そして、保護者の方々の協力。今回吹奏楽編成化するにあたり、楽器の購入、メンテナンス等も、後援会の方々の多大なるご支援により実現可能となりました。また、朝早い時間に子供たちを送り出してくれる保護者の方々のご苦労には頭が下がるばかりです。これからも、より一層のご支援、ご声援のほどをよろしくお願い申し上げます。

幼稚園短信

雪あそび

八王子中央幼稚園



でみたり、みんなで大きな雪だるまを作ったり、雪合戦をしたりと、ついつい時間が経つのも忘れてしまう程、教師も子ども達も楽しんで遊んでいます。「先生!と、ほっぺを触る手の、あまりの冷たさにびびくりする程子どもは「冷たいでしょ。」と、ニコニコしながら雪でいっぱい遊んだ赤い手を教師に自慢しているようです。又、園庭の築山の上からダンボールや、ビニール袋

を敷いて滑って遊ぶことも子ども達は大好きです。子ども達は、「雪のジェットコースター」と名付けて楽しんでいきます。途中で転倒して大笑いをしたり、どこまで進むか友達と距離を競争したり、教師も本気で子ども達に勝とうと、熱くなっています。本園では、このように教師も子ども達も雪が降った年はほおを赤く染め、空からの贈り物である白銀の世界を、体全体で夢中になって楽しんでいきます。雪の上を寝転んで

グループ活動 (給食当番)

多摩中央幼稚園

二学期に入ると子ども達の興味や関心が、多方面に広がり、梅組(年中)では松組(年長)の行動がとても気になる様です。特に給食の準備の時の三角巾にエプロン姿の松組にあこがれてうらやましそうに、「私も早くあの格好をして先生のお手伝いをしたいな」という声があちこちで聞かれる様になってきていました。友達関係も広がりを見せ始め、グループ活動も出来る様になり、出席報告や給食の当番活動を始めの様になりました。当番の日がくるのを楽しみにしています。「今日は給食当番だよ!早くエプロンつけなくちゃ!」三角巾は難しいよ、先生手伝って下さい」と当番の仕事に入るまでが大変な子ども達です。「ちゃん、箸とスプーン配るうよ!」じゃあ僕達はお

皿配るね!などと話をしながら当番活動をしている姿は、とても楽しそうです。クラス友達が園庭から戻ってくる、「はい、トイレに行つて手洗い、うがいをして下さい!」みんな席に着いて下さい!とまるで小さな先生の様です。「頂きます!」の挨拶も、みんなの前でちゃんと話している子ども達を見てみると、つくづく成長を感じます。



感や協力する気持ちを持つて取り組んでいける様、引き続き指導していきます。又、グループ活動の中で自信をつけ、様々な活動の意欲につながられる様になります。

クリスマス会

附属第三幼稚園

十二月十七日(土)第三幼稚園のホールに保護者の方も呼びつけて、クリスマス会が開かれました。赤や青の灯りがついたクリスマスツリーが点灯すると会場から大歓声、そしてステンドグラスが現れると感動の声があがり、みんなで、メリークリスマス」の歌を歌って始まりました。クリスマス会では、桜組(年少)・梅組

(年中)松組(年長)がそれぞれ天使様に誓いの言葉を言い、良い子になれるよう約束をしました。その後、学年ごとに踊りやフォークダンスを踊ったり、歌や合奏もして楽しい時間を過ごしました。終盤に差し掛かると、サンタさんの登場です。鈴の音と共にサンタさんがそりに乗ってやってくる子ども達は大喜び!口を開けたまま思わず立ち上がった様子、サンタさんだ!サンタさんだ!!と興奮して友達と手を握り合ったり、大変な騒ぎとなりました。

また、サンタさんが握手をしてくださると、その手のぬくもりがいつまでも浸っている姿もありました。このところ現実的な考え方が横行し、空想の世界が大切にされなくなってしまうように思われます。「サンタさんでどうやって来てくれたのかな...?」「本当におひげがはえていたよ!」と子供達の思い描く夢や理想の世界、信じる心をいつまでも大切に大人たちが守ってあげなければいけないのではないかと改めて実感しました。

在園児対象の 防犯教室

三田幼稚園



報道番組からは毎日のように事件についてのニュースが流れてきます。園児にと

つても保護者にとりましても不安は隠せないようです。幼稚園でも教職員間での安全対策などは考えており、そこで三田警察防犯係の指導により子ども達に防犯講習会を行って頂きました。知らない人についてはいかに出かける時には行き先を言う一人では遊ばない、連れて行かれそうな時は「助けて」と大きな声で叫ぶと言った約束があることを話していただきました。その後は腹話術で人形のケンちゃんとの約束を再確認したり腕をつかまれた時の払い方や車で

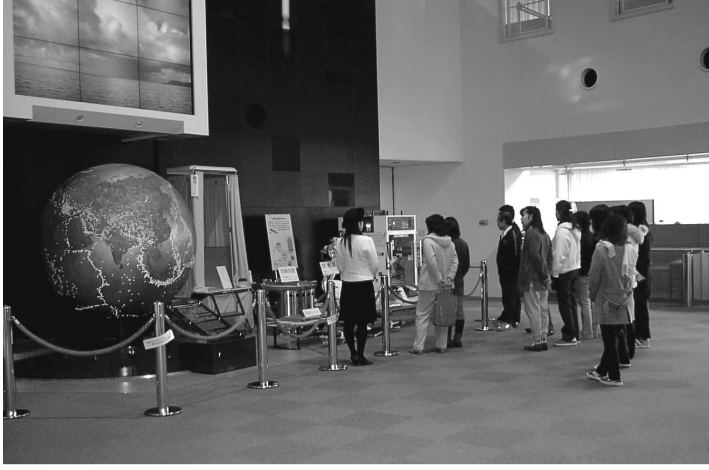


声掛けられたら逆方向に逃げる等の実践指導を受けました。子ども達には楽しい会のようにも感じられたようですが、この経験も頭のどこかで働いてくれればと思います。教職員も防犯棒の使い方等の指導を受けましたが、いざと言う時に私たちが子ども

どもの命を守るのが役割です。犯人には怯まず対応し警察が来るまでの時間、長く感じるかもしれませんが子ども達も守る為の学びと心構えが出来ました。防犯棒の設置場所や設置本数など園全体に目を配り子どももの安全に対応していきます。

防災体験をして

附属第二幼稚園



日本は、地震国と言われ世界で起きる地震の十分の一が日本で起きているそうです。幼い幼児を預かっている幼稚園として常に災害に対する意識を高く持ち万一の事態に備えていなければなりません。園では、消防署の方より指導を受け避難訓練を年間を通して実施しておりますが、この度は、教職員全員で松戸市柿ノ木台の「千葉県西部防災センター」で地震、風水害

通報訓練、火災体験もしました。火元にしっかりと消火器を向け余分な動きをしない事を改めて感じました。これらの実

災の消火訓練等の実体験をしました。過去に日本で起きた地震の中で最大だった関東大地震の七度強、次にまだ記憶に新しい阪神淡路地震の七度と同様の揺れをモデルハウスで体験し、その恐ろしさを実感しました。地震時は、まず第一に身の安全を守る事を優先しテールの下などに隠れ、落下物を避け揺れが収まるのを待ちます。揺れている間の行動は、無駄な動きで大変に危険を伴うということになります。また火事が発生した場合、「火事だ」と大きな声で周囲に聞こえるように知らせ自分でできる範囲で消火にあたる事で、実際に消火体験もしました。火元にしっかりと消火器を向け余分な動きをしない事を改めて感じました。これらの実

験を通し火事災害の恐怖を感じました。いつもの状況の中で災害が生じるのかわからないだけに幼稚園では万全を期し、幼児に安心感を持たせ、誘導できるようにしておかなければなりません。そして冷静で機敏な行動力、状況をよく掴む確かな判断力も求められ、責任の重大さを強く感じました。



風速22mを体験

「リフレッシュタイムを一緒に」 親子で作って遊べる 楽しい折紙

附属浦安幼稚園

紅葉の舞い散る十二月六日(火)第七回目のリフレッシュタイムを「一緒に」のタイトルで親子一緒に折紙で楽しい遊びのプランをたてました。この意図するところは、聖徳大学附属幼稚園四園が子育て支援を目的とした活動の一つで、希望する親子を募ったところ三十一組の参加がありました。当日はホールに園児机を並べ、折紙の基本形からスター



トし、身近な動物やキャラクターなど親しみの持てる題材にチャレンジしました。何の変哲もない一枚の紙が順次に変化し一つの作品が

出来る過程において、親子のコミュニケーションの場、笑顔で応えるお母様、そこはかとなく日常家族の母の様子垣間見られて微笑ましい限りでした。最後まで一人でやり遂げた子、各々明るい楽し気な様子でした。最後にクリスマスも近いので絵皿で折紙リースを作り、おみやげに持ち帰りました。今回は、在園親子のリフレッシュタイムでしたが、来年は近隣にも声をかけ、さらに親子で興味を持って取り組める企画を立案し、聖徳大学附属浦安幼稚園の教育を理解して頂ければと思います。

初めての バレエ発表会

附属幼稚園



幼稚園の玄関にクリスマスツリーが飾られた十二月三日(土)に小野正子バレエスタジオ松戸教室のクリスマス発表会が開催されました。一昨年の五月に附属幼稚園でバレエ教室が開かれて一年七ヶ月、木曜日と土曜

日の週二回幼稚園のホールで三歳児から小学生までの幼児児童が四クラスに分かれレッスンを受けてきました。レッスンは始まったばかりの頃のベビークラスでは泣きペソをかいて先生やお母さま方を困らせている幼児もいましたが、今では幼児たちの表情もキュッと引き締め、柔軟・バレエレッスンと指導される先生の一言一投足に集中出来るようになり、発表会の日程が決まり、クラス毎にプログラムレッスンを始めると、覚えての振り付けを得意気に「先生見て！」と踊って見せてくれる事も多くなり、徐々に意欲も高まって来たようです。当日は、髪型をアップにし衣装を着てうっすらとメイクアップもしていただきすつ

かりプリマドンナ気分のようにうでた。会場には両親を始め、遠くからお出でくださった祖父母の方、そして、バレエに関心のある方等約百八十名の方が集まりビデオやデジカメで写真を撮ったり、一人ひとりの演技に暖かな拍手を送ってくださいました。幼児の中にはプレッシャーからペソをかいてしま、先生方も大慌てという一面もありましたが、いざ舞台上に上がればしっかりと踊ることが出来、初めてのリトルバレリーナのクリスマス発表会は盛会のうちに終了いたしました。ドキドキしたけどのしかつた、また、踊りたい！と舞台を経験してちょっと自信がついた子ども達の笑顔はキラキラと輝いていました。

当日を迎えるにあたり、レッスン担当の先生がスパコンロールやビーズを一人ひとりの衣装に一針一針心を込めて縫付けてくださったり、何かと励ましてくださったなど、先生方のご指導の賜物と心より感謝いたします。皆さんも一度レッスン風景を見にいらっしやいませんか？



平成18年度 入試日程

聖徳大学大学院通学課程(共学/昼・夜開講)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
前期課程	児童学 臨床心理学 言語文化 人間栄養学	内部推薦B 一般入試B 社会人特別B 私費留学生特別B	2月 6日(月)~ 2月21日(火) 2月26日(日)
	音楽文化	内部推薦B 一般入試B 社会人特別B 私費留学生特別B	2月 6日(月)~ 2月21日(火) 2月25日(土)、26日(日)
後期課程	児童学 臨床心理学 言語文化 人間栄養学	内部推薦B 一般入試B 社会人特別B	2月 6日(月)~ 2月16日(木) 2月26日(日)
	音楽文化	内部推薦B 一般入試B 社会人特別B	2月 6日(月)~ 2月16日(木) 2月25日(土)、26日(日)

聖徳大学大学院通信教育課程(共学)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
4月生	博士前期4月生(B日程)	1月30日(月)~ 3月 7日(火)	3月11日(土)
	博士後期4月生	12月12日(月)~ 1月25日(水)	2月26日(日)

聖徳大学人文学部(女子)・聖徳大学短期大学部(女子)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
学部/短大	センター試験入試B 一般入試B	2月 6日(月)~ 2月21日(火)	2月23日(木)~24日(金)
	センター試験入試C 一般入試C	2月27日(月)~ 3月10日(金)	3月14日(火)~15日(水)

1 試験日自由選択制。音楽文化のみ指定日あり。[B日程 2月24日(金)、C日程 3月14日(火)]
2 音楽文化は実技あり[B日程 2月24日(金)、C日程 3月14日(火)]

聖徳大学人文学部編入学(女子) 聖徳大学短期大学部専攻科(女子)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
編入学	内部C、学士・一般・社会人D	2月 6日(月)~ 2月21日(火)	2月24日(金)
専攻科	内部C、一般D	2月 6日(月)~ 2月21日(火)	2月24日(金)

聖徳大学幼児教育専門学校(好)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
推薦/特別入試	後期B日程	2月 1日(水)~ 2月10日(金)	2月11日(土)
	後期C日程	2月13日(月)~ 2月25日(土)	2月26日(日)
	後期D日程	3月 1日(水)~ 3月17日(金)	3月18日(土)
	一般入試	後期B日程	2月 1日(水)~ 2月10日(金)
一般入試	後期C日程	2月13日(月)~ 2月25日(土)	2月26日(日)
	後期D日程	3月 1日(水)~ 3月17日(金)	3月18日(土)

聖徳大学附属中学校(好)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
中学	選抜入学試験C日程	1月7日(土)~ 2月 4日(土)	2月 5日(日)

聖徳大学附属聖徳中学校(女子)

入試区分	願書受付期間	入試日
中学 一般第3回入試	郵送での出願期間	2月2日(木)~2月8日(水) 必着
	窓口での出願期間	2月 9日(木)~10日(金)
		2月12日(日)



「阿波木偶 人形 お染」を(多田 健二作)展示中!
於 川並香順記念講堂入口・エスカレーターの右脇

本学では、建学の精神を理解させる一つの方法として本物教育の素晴らしさを取り上げております。この度、講堂に展示した人形「お染」は、実演する人形浄瑠璃の場で操られるものです。人形浄瑠璃に使われる人形を木偶と呼び、特に阿波の国(現在の徳島県)では数多くつくられ、阿波木偶と呼ばれています。

ここに展示した人形「お染」は、宝永七(1710)年、実際にあった事件をもとにつくられた代表的な作品『新版歌祭文』の「湯屋の段」に登場する主人公です。人形を使う芝居の始まりは、平安時代まで遡ることができますが、慶長年間に、人形浄瑠璃として開花したと言われます。現在、阿波の人形浄瑠璃は、重要無形民俗文化財として指定されています。

制作者である多田健二氏は、これまでフランス・中国の博物館等の公共施設に出品し、高い評価を受けています。その作品の生き生きとした表情は、まるで私たちに話かけているようです。さらに同氏は、人形浄瑠璃の伝承と児童の郷土教育への貢献により、(財)博報児童教育振興会から、第三十六回博報賞(文化教育育成部門)を受賞されました。シリーズコンサートなどで講堂にお越しの際には、ごゆっくりとご覧ください。



母なる地球の胎内に誕生したダイヤモンドは、「永遠」の象徴といわれ、大自然の神秘を感じさせます。その美しい輝きと共にその特質は、地球上で最も硬い結晶(クリスタル)として知られています。その硬さのため、トンネルを掘削する時に使用するドリルの刃先として使われています。また、鋭く研磨することができるため、医療用のメスとしても用いられています。さらに、近年では最新の電子機器用素材としても注目されています。

このようにダイヤモンドには幅広い用途や可能性が秘められています。今後も現代社会に無くてはならない宝石として、その存在感を高めることでしょう。

本記念展覧会は、大自然から生まれたダイヤモンドの神秘を解き明かすと共に、世界で最も大きな原石から研磨されたダイヤモンドが使われている英国エリザベス女王の冠と笏のレプリカを特別に展示します。この機会に、かけがえのない地球から誕生したダイヤモンドが、人間の英知により様々に利用されていることを知り、大自然に対して改めて理解を深めることができればと思います。

特別展覧会

聖徳大学短期大学部創立40周年記念「大自然の神秘 ダイヤモンドの世界」展

開催日:平成18年4月20日(木)まで
(休館 毎日曜・祝日と学事日程による休業日)
開催時間:午前9時~午後5時
お問い合わせ:川並記念図書館 Tel.047-365-1111(代表)

第1会場/聖徳大学 8号館
クリスタルホール ギャラリー

・「ダイヤモンドとは?」/「ダイヤモンドはどこからきたのか?」/「ダイヤモンドの硬さの秘密」/「ダイヤモンドが輝く理由」/「ダイヤモンド四十の謎」など

特別展示:
・英国のエリザベス女王の冠と笏(レプリカ)
・ダイヤモンドを含んだ岩石(キンバレー岩 実物)



第2会場 聖徳大学 8号館
クリスタルホール 利根山光人記念ギャラリー
・写真でたどる「ダイヤモンドの生い立ち」

聖徳大学・音楽研究センター第2回オペラ公演

W.A.モーツァルト作曲
フィガロの結婚
Wolfgang Amadeus Mozart

2006年2月16日(木)
開場/17:30 開演/18:00

【会場】/聖徳大学川並香順記念講堂

【入場料】/2,000円 全席自由、税込)

主催/聖徳大学・音楽研究センター



【催しのお問い合わせは】
聖徳大学音楽研究センター事務局
〒271-8555 松戸市岩瀬550
Tel.047-365-1111 (内線3231~4)

お車での来場はご遠慮下さい。

指揮:高橋 大海
演出:十川 稔
照明:矢口 雅敏
美術:升平 香織
副指揮:高橋 誠也
大井 剛史
舞台監督:賀川 祐之

出演者
アルマヴィヴァ伯爵:
青戸 知
伯爵夫人(2幕):
荒木 淑子
伯爵夫人(3幕、4幕):
森岡 絃子
フィガロ:
藪西 正道
スザンナ:
宮部 小牧
ケルビーノ:
加賀 ひとみ
マルチエリーナ:
栗田 真帆
バルトロ/アントーニオ:
小野 和彦
バジリオ:
小原 啓楼
ドン・クルツィオ:
志田 雄啓
バルバリーナ:
明石 真衣
二人の娘:
富岡 春恵
横尾可奈子
チェンバロ:
山口 佳代
合唱
聖徳オペラ クワイア
オーケストラ
聖徳大学
フィルハーモニーオーケストラ

春休みもかすが荘・山中湖荘へどうぞ!

信州春日温泉 かすが荘 Tel:0267-52-2111

かすが荘では、現在期間限定のお得な宿泊プランを実施中です!
この機会に皆さまお誘い合わせの上、どうぞお越しください!

新春プラン	実施中~3月31日まで
ご夕食に牛すき鍋、寄せ鍋も選べるご宿泊プランです! 在学学生・教職員は通常料金+1,900円で「新春プラン」のお食事をご利用いただけます。	平日 1泊2食 8,300円~ 休前日1,050円増し
保養連泊プラン	実施中~3月31日まで
60歳以上の方を対象としたご宿泊プランです!	平日 2泊5食 15,000円~ 休前日1,050円増し
日帰りプラン	
日帰りの宴会と温泉へのご入浴がセットになったプランです!	全日 3,200円/4,200円
親子一緒にプラン	
謝恩会などを対象とした日帰りプランです!	保護者様、お子様お二人で 5,000円 (5組様以上)



聖徳学園 山中湖荘 Tel:0555-62-3111

山中湖荘では、季節の食材を活かした自慢の料理をご用意して、皆さまのお越しをお待ちしています!

ご利用料金	ご予約や各プランの詳細は各フロントまでお問い合わせください。
在学生 平日 1泊2食 5,200円	かすが荘 Tel:0267-52-2111 Fax:0267-52-2119 E-mail:kasugaso@sas.janiss.or.jp 山中湖荘 Tel:0555-62-3111 Fax:0555-62-3112
教職員 平日 1泊2食 5,250円(休前日5,850円)	
卒業生・家族 平日 1泊2食 8,150円(休前日9,250円) 山中湖荘では現在実施中の特別プランはございません。	



本学園ホームページから詳細をご覧ください。
www.seitoku.jp/gakuen/house/

学校法人 **東京聖徳学園**
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

発行人 川並弘昭
編集 理事長室 企画渉外課
06.21.re (26.)

心づながる、ひろがる。
The 75th Anniversary

読者の欄
学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。聖徳フラッシュは皆様の広報誌です。つきましてはインターネットを利用して皆様の聖徳フラッシュに対するアンケートを取らせていただいております。お手数ですがご協力のほどよろしくお願い申し上げます。今後、ますます充実させていきたいと思っております。是非皆様からのご意見・ご感想をお寄せください。

アンケートURL <http://www.seitoku.jp/gakuen/flash/index.html>
ご意見・ご感想の宛先
〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園 「聖徳フラッシュ」係まで
(インターネットからは <http://www.seitoku.jp/gakuen/toiawase/> の「その他のご意見・お問い合わせ」まで)